

護し、主張し、代弁していくのか、今後より一層の検討・研究が必要です。

7月度会員向け学習会に参加して

ゆうゆう美波途 鷹 昭子

7月18日(木)の午前10時より7月度の会員向け学習会としてきょうだいの会の岩田澄美子氏による講義があり、私は途中から参加しました。

岩田氏のご両親と知的障がいのお兄様のお話から始まりました。

岩田氏のお兄様は小学生時代から、少し人と違う?勉強が出来ないなあ…とご両親たちは感じられていたそうです。

岩田氏は小さい頃からお兄様と一緒にだったので、特に不思議に思わなかったそうです。

そしていつもご両親から「お兄ちゃんのことを頼むね」と言われていたので面倒をみるのは当たり前だと思っていたとのことでした。

お兄様は23年間、毎日牛乳という会社に勤務されていましたが、時間までに出勤できなかつたり、休むこともあり、お母様も心配されていたようです。

その後、お兄様は一人暮らしもされていましたが、ひきこもりを起し、精神も病んでしまい入院と退院の繰り返しとなり、そのうえ糖尿病も患うことになったそうで、40才のとき療育手帳を取得したという事でした。

岩田氏は、ご結婚されご主人とお子さんたちとの生活がありましたが、お父様は他界し、お母様は92才で認知症も出てきたので、実家へ泊込むことになった時、ご主人やお子さんたちの協力があり、大変心強く助かったとお話しされていました。

現在、お母様は介護グループホームに入居されていて、お兄様も食生活の管理をしてもらえる堺のホームのような住居で生活されているようです。

最後に岩田氏は、お母様とお兄様を看取りたいとおっしゃられ、私は親の思いも、きょうだいの思いも一緒だなと思いました。

ちなみに私の息子は、日中はゆうゆう美波途で作業して、夜はケアホーム「メープル」に9年住んでおり、月に数回実家に帰ってきます。

今は私も自分の時間を持つことができましてハッピーです。

長男のことで次男に負担をかけさせたくない思いですが、「福祉のこと諸々あるのでお願いね!」と頼

んでいます。

皆様方も色々ご家族の中でお話しをされているとは思いますが、どうでしょうか。



第2回エルチャレ甲子園が開催されました

NPO法人わかたけ会 バンブー
職業指導員 高橋 貴子

7月7日(日)に大阪府立大型児童館(ビックバン)にて第2回エルチャレ甲子園が開催されました。

わかたけ会からは上田さん、栴田さん、松田さん、前田さんの4名の訓練生と参加させて頂きました。

初参加の上田さんは、個人競技・団体種目ともいちばん大きな挨拶で始まり、やる気と元気のある清掃でした。残念ながら今回はメダルが獲れませんでした。来年は獲れると思うので、これからも清掃の腕を磨いて頑張りたいです。

2回目の出場の栴田さんは、前回銅メダルを獲られているので、落ち着きもあり余裕さえある清掃でした。

また、松田さん、前田さんも2回目の出場です。松田さんは、最初、メダルは獲れないと自信なさそうでしたが、個人種目「洗面台部門」では落ち着きがあり、丁寧な清掃でした。日ごろの成果が出せたことだと思います。一方の前田さんは緊張されながらも、ゆっくりとした清掃で結果



発表までは失敗したとメダルは獲れないと思ったのか、ひどく落ち込まれ口数も少なくやや涙目でじっと座ったままでした。

私たち職員も「個人種目では1個くらいメダルが貰えるだろう」、「団体種目は無理だろう」とい